

1 食料・農業・農村をめぐる情勢

<国内外動向>

- ▶ **国内市場の縮小と海外市場の拡大** 人口減少、消費者ニーズの変化
- ▶ 頻発する大規模自然災害、**新たな感染症**
- ▶ **CSF（豚熱）の発生・ASF（アフリカ豚熱）** への対応
- ▶ Farm to Fork戦略（20.5 EU）2030年までに化学肥料の使用及びリスクを50%減、有機農業を25%に拡大

<国内動向>

- 1 国
 - ▶ 2020年 3月：「食料・農業・農村基本計画」が閣議決定
 - ・「産業政策」と「地域政策」を車の両輪として推進
 - 食料を安定的に供給し食料自給率の向上と食料安全保障を確立
 - ▶ 2021年 3月：農林水産省が「農業DX構想」をとりまとめ
 - ・消費者ニーズを起点にしながら、デジタル技術で様々な矛盾を克服して価値を届けられる農業へ
 - ▶ 2021年 5月：「みどりの食料システム戦略」が策定
 - ・持続可能な食料システムの構築に向け、カーボンニュートラル等の環境負荷軽減のイノベーションを推進
 - ▶ 2021年 6月：「経営財政運営と改革の基本方針2021」、「まち・ひと・しごと創生基本方針2021」閣議決定
 - ▶ 2021年 7月：2022年度予算概算要求の基本方針（案）を示す
 - ・「デジタル化」「脱炭素化」など重点分野の特別枠を設ける
- 2 福島県
 - ▶ 2022年 3月：福島県農林水産業振興計画改定予定

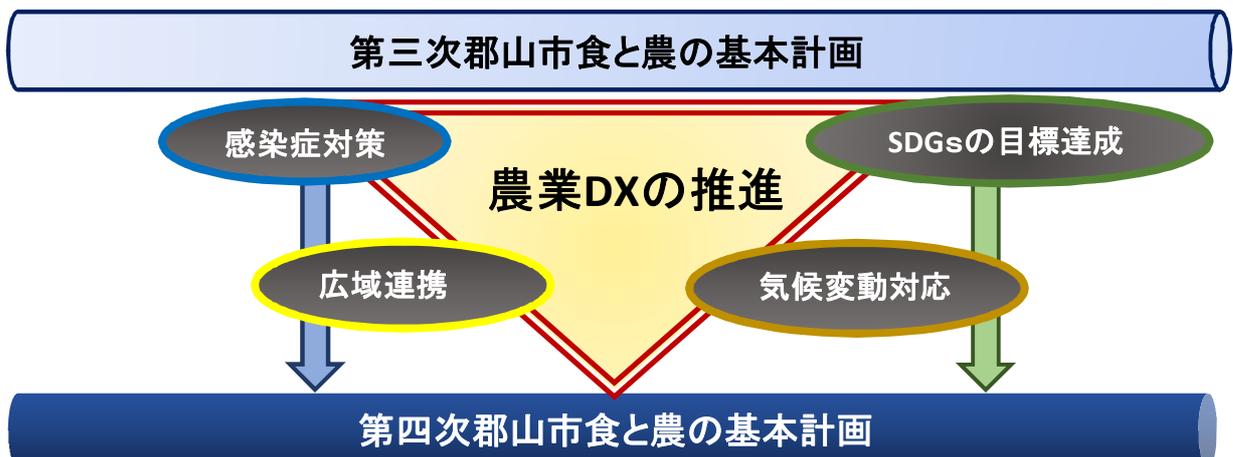
3 第三次食と農の基本計画策定後の本市動向

- ▶ 2019年 7月：「SDGs未来都市」への選定
- ▶ 2020年 3月：「こおりやま広域連携中枢都市圏ビジョン」策定
- ▶ 2021年 3月：「郡山市総合地方卸売市場経営戦略」「郡山市気候変動対策総合戦略」策定

2 次期計画のポイント

「第三次食と農の基本計画」を踏まえ

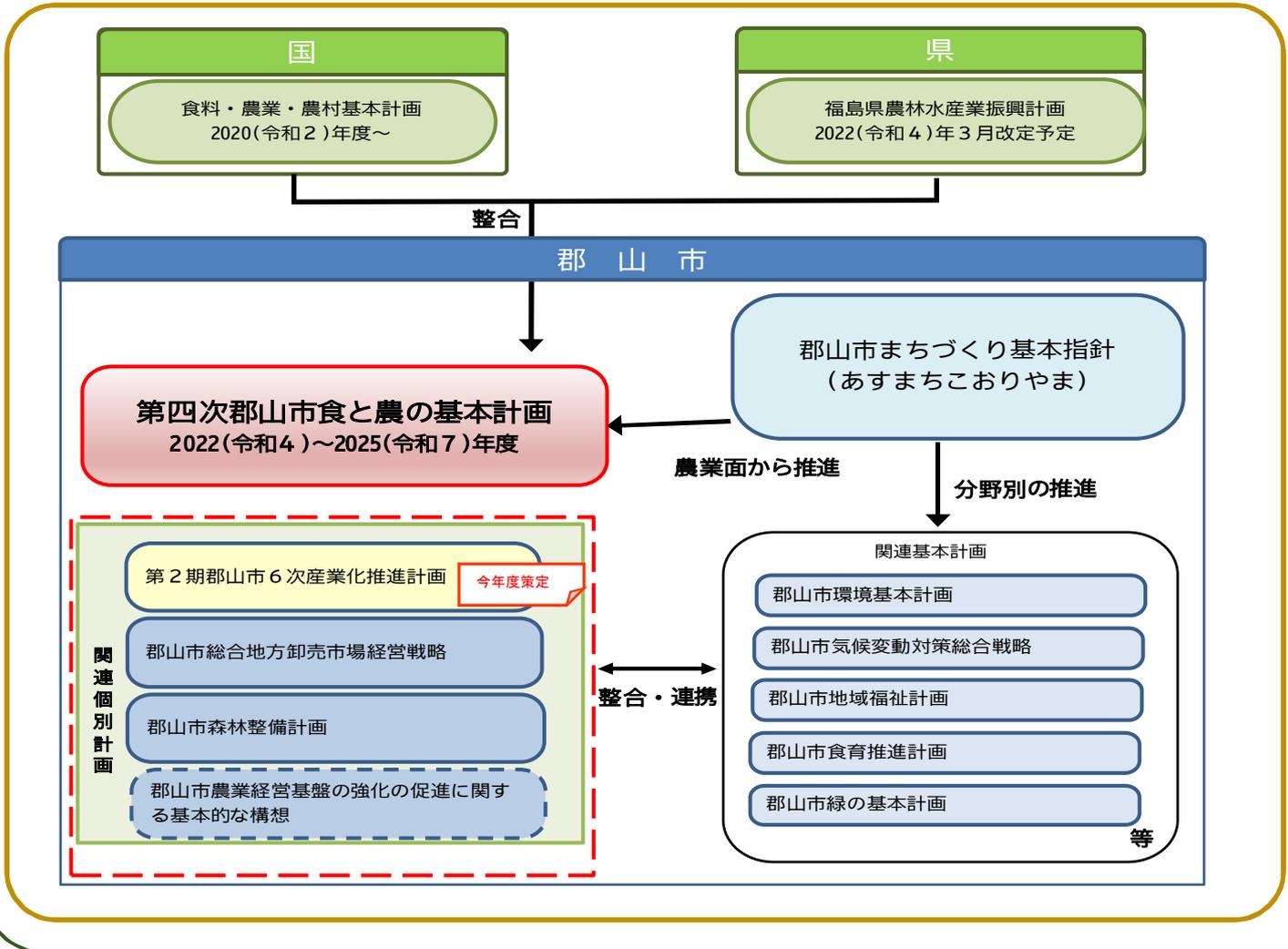
- 「食料・農業・農村基本計画」「農業DX構想」「みどりの食料システム戦略」等や国内外動向を整理
- 「まちづくり基本指針の実施計画」や各種法令との整合性を図る
- 「農業DXの推進」「気候変動などへのリスク対応」「新型コロナウイルスや家畜伝染病等感染症への対応」「SDGsの達成」「広域連携」「卸売市場の活用と農産物の輸出拡大」等を反映した施策の推進を図る



3 郡山市第四次食と農の基本計画の概要

1 計画の位置づけ

- ▶ 本市農業行政の基本計画
- ▶ 本市の最上位計画である「郡山市まちづくり基本指針」を農業面から推進



2 計画期間

- ▶ 2022（令和4）年度から2025（令和7）年度まで

4 策定スケジュール（案）

	令和3年										令和4年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
懇談会					第1回		第2回			第3回		策定 公表	
市民意見									パブコメ				
市議会								各派会長 会					
庁内意見					庁内照会								